

**DECORATIVE SHEET FOR BUILDING AND DECORATIVE FLOORBOARD
COMPRISED OF THAT AND DECORATIVE FLOOR MATERIAL
CONSTITUTED BY COMBINING THEM WITH EACH OTHER**

Publication number: JP7088992 (A)

Publication date: 1995-04-04

Inventor(s): ARAI MASAHI

Applicant(s): EIDAI CO LTD

Classification:

- International: B32B3/30; B32B21/13; B32B3/30; B32B21/00; (IPC1-7); B32B3/30

- European:

Application number: JP19930241250 19930928

Priority number(s): JP19930241250 19930928

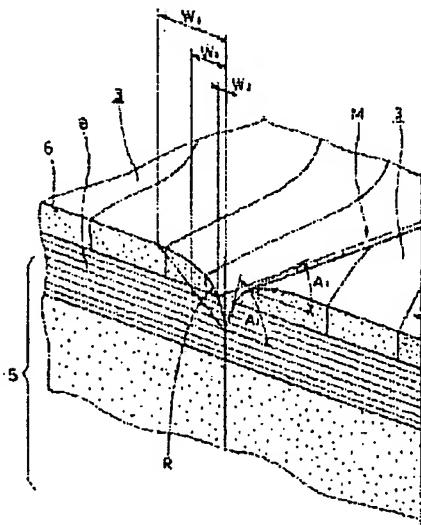
Also published as:

JP3189022 (B2)

Abstract of JP 7088992 (A)

PURPOSE: To obtain a decorative sheet for building which is suitable as a decorative floorboard superior in design properties and running properties, by constituting the decorative sheet so that it is cut off so that a vertical sectional form of the decorative sheet becomes a curved surface where it is projected outward on the upper edge.

CONSTITUTION: A decorative floor material is constituted by a method wherein a plurality of decorative floorboards 3 which are in a state of a strip of fancy paper are arranged on a base so that the decorative floorboards 3 are adjoined each other in its longitudinal direction and end parts are confronted with each other. Plywood or a particle board or a medium duty fiber sheet are used as a base. The decorative floorboard 3 is cut off so that a decorative sheet which is constituted by a method wherein a decorative veneer 6 is stuck onto the plywood 5 extends to an intermediate height of a deck 8 positioning at an upper layer of the plywood 5 from the decorative veneer 6 by running along the upper edges of four sides of the decorative sheet and its vertical sectional form becomes a form R of a curved surface projected outward. Hereby, a decorative material for building wherein it has a cubic effect and a ligneous base part is in conspicuous on a cut off surface is obtained.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-88992

(13)公開日 平成7年(1995)4月4日

(51)Int.Cl.
B32B 3/30識別記号
7158-4F

P1

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特許平5-241250

(71)出願人 000000413

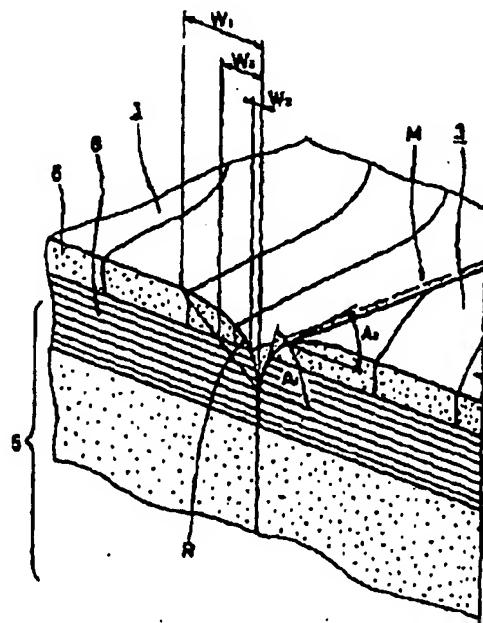
(22)出願日 平成5年(1993)9月28日

木大産業株式会社
大阪府大阪市住之江区平林南2丁目10番60
号(72)発明者 新井 政哲
大阪府大阪市住之江区平林南2丁目10番60
号 木大産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 国田 和秀

(54)【発明の名称】 連続用化粧板及びそれによる化粧床板、それらが組み合わされて構成される化粧床材

(57)【要約】

【目的】 デザイン性、歩行性に優れる化粧床板として
所要な連続用化粧板を提供する。【構成】 木質基板5上に化粧單板6が貼着された化粧板が、その上部に沿って化粧单板6から木質基板5の上
層に及ぶように。かつ、その垂直断面形状が外方に突出
する曲面状Rとなるように切削されてなる連続用化粧
板。

【特許請求の範囲】

【請求項1】木質基板上に化粧单板が貼着された化粧板が、その上部に沿って前記化粧单板から前記合板の上層に及ぶように、かつ、その垂直断面形状が外方に突出する曲面形状となるように切削されてなる建築用化粧板。

【請求項2】前記曲面形状の立ち上がり角度が、その下部において大きく、上部において小さい請求項1記載の建築用化粧板。

【請求項3】前記切削により露出する前記木質基板部分を隠すための面処理がなされている請求項2記載の建築用化粧板。

【請求項4】請求項1、2または3記載の建築用化粧板よりなる化粧床板。

【請求項5】請求項4記載の化粧床板が前記切削部分を互いに当接して平面的に組み合わされて構成される化粧床材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、建築用化粧板、とくには、化粧床板、さらにはそれらが組み合わされて構成される化粧床材に関する。

【0002】

【従来の技術】一般住宅、マンション等における木質フロアの形成は、表面に木目を有する短冊状のフロアーピースを床構造体上に設置して行う場合が多い。上記のフロアーピースは全体をムク材よりなる構成とすると非常に高価となるので、通常は合板等の表面に表皮(化粧单板)を貼着した化粧床板により形成している。

【0003】そして、この化粧床板はその上部が斜めにカットされ、意匠された際には脚接する化粧床板間にば断面V型の溝が形成されるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記のように脚接する化粧床板間にV型の溝が形成されるものでは、どうしても立体感の豊かな柔らか味のあるフロアーが形成できず、また、床板上部の角の存在により歩行感が悪いという問題点があった。

【0005】上記の立体感をより大きくするためには、溝をより深くすることが考えられるが、溝を深くするよう床板を深くカットするとツキ板の下端の合板にまで深くカットが及び、その部分が溝の底で黒く目立つてデザイン性が損なわれることとなつた。合板にまで深くカットが至らないようツキ板として厚いものを使用することが考えられるが、その場合はコストが高くなり、また、溝をあまり深く形成するのは、歩行感をさらに低下させることとなつた。

【0006】本発明は、上記のような点に着目してなされたものであり、デザイン性、歩行性に優れる化粧床板として好適な建築用化粧板を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1の発明では、建築用化粧板を、木質基板上に化粧单板が貼着された化粧板が、その上部に沿って前記化粧单板から前記合板の上層に及ぶように、かつ、その垂直断面形状が外方に突出する曲面形状となるように切削されてなる構成とした。

【0008】請求項2の発明では、さらに、前記曲面形状の立ち上がり角度が、その下部において大きく、上部において小さい構成とした。

【0009】請求項3の発明では、さらに、前記切削により露出する前記木質基板部分を隠すための面処理がなされている構成とした。

【0010】請求項4の発明では、化粧床板を、請求項1、2または3記載の建築用化粧板よりなる構成とした。

【0011】請求項5の発明では、化粧床材を、請求項4記載の化粧床板が前記切削部分を互いに当接して平面的に組み合わされて構成されるようにした。

【0012】

【作用】請求項1の発明によれば、化粧板が上部において垂直断面形状が外方に突出する曲面形状となるように切削されているので、立体感があり、平面形状において切削部分に露呈する木質基板部分の幅の切削幅全体に対する割合が小さくて木質基板部分が目につきにくい建築用化粧板が得られる。

【0013】請求項2の発明によれば、請求項1の発明において、平面構成において曲面形状部分が平面的に大きな面を持つこととなって柔らか味のある立体感が増大され、木質基板部分もさらに目につきにくいものとなる。

【0014】請求項3の発明によれば、請求項2の発明において、木質基板部分が面処理により覆われることで、切削面の木質基板部分が殆ど目に触れないようになる。

【0015】請求項4の発明によれば、請求項1、2または3において、切削部分が曲面形状故に歩行感がよい化粧床板が得られる。

【0016】請求項5の発明によれば、溝部分の木質基板部分が目に触れにくく、また、柔らか味のある立体感を備えるとともに、歩行感の良い化粧床材が得られる。

【0017】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0018】図1は本発明の化粧床材の端面構成を、図2はその要部の拡大構成をそれぞれ示す。化粧床材1は、基材2上に複数の短冊状の化粧床板(建築用化粧板)3が、その長手方向が脚接されるとともに、端部が突き合わされるように配置されて構成される。上記基材2としては、合板やパーティクルボード、中質繊維板等

3

が通常用いられる。

【0019】化粧床板3は、合板(木質基板)5上に化粧單板(0.6mm厚)8が貼着されて構成される化粧板が、その4辺の上縁に沿って化粧單板8から合板5の上層に位置する甲板(1.2mm厚)8の中間高さに及ぶように、かつ、その垂直断面形状が外方に突出する曲面形状Rとなるように切削された構成とされている。上記合板5に代えてパーティクルボード、中質纖維板等を用いててもよい。

【0020】上記曲面形状Rの断面は梢円形状に近く、その下部における立ち上がり角度A₁が上部における立ち上がり角度A₂より大きくなるように設計されている。

【0021】曲面形状Rの形成は、図3に示すように直接に曲面形状Rを備えるカッター10により切削して行ってもよく、図4に示すように直線形状のカッター11で斜めにカットした後にニッケルセグダーハサミ12で研磨して行ってもよく、さらに、図5に示すように、金型13を用いてプレス成形して行ってもよい。

【0022】また、切削により露出する甲板8面は、ワイヤーピンク装置に先立って、サンディングシーラーや、化粧单板8の切削面と同じ色に色合わせされたエナメル等がハケ、スプレーまたはロール等で塗布されたり、転写印刷されたり、化粧シートが貼着されて面処理がなされ、これにより甲板8が殆ど目に触れないように構成されている。

【0023】そして、化粧床板3は、上記のような立ち上がり角度に特徴がある曲面形状Rを持つ構成により、その平面構成において曲面形状R部分が平面的に大きな幅W₁を持つこととなり、これにより化粧床材1としては形成される溝Mがそれほど深くなくとも柔らか味のある立体感が得られる。また、上縁に角部が全く存在しないので、歩行感も良好なものとなる。

【0024】さらに、露呈する甲板8の平面的位置における幅W₁の割合は全体幅W₂に対して非常に小さくなり、その小さくなつた部分に面処理が施されていることで殆ど甲板8部分が目に触れない構成とされて、デザイン性が高められている。上記のW₁とW₂の比W₁/W₂は、「3」以上が好ましく、とくに「5」以上とされることでよりデザイン性が高められる。なお、上記甲板8の露呈幅W₁は、従来における上縁を斜めにカットするだけの露呈する甲板8の幅W₂に比して、大幅に減少している。

【0025】また、上記のように露呈する甲板8の幅W₁が目に触れない構成とされることで、上縁の切削部が甲板8にまで及ぶことが許されるので、化粧单板8として薄いものを用いることができ、その結果、コストを高くすることなく立体感があつてデザイン性に優れるとともに、歩行感の良い化粧床板3、化粧床材1が得られる。

10

20

30

40

50

4

【0026】上記の実施例では化粧床材について説明したが、この発明の建築用化粧板は壁材等として用いても、十分にデザイン的に優れたものが得られ、また、化粧床材の上縁への曲面形状の形成は、全面に及ぶものでも、適宜の辺に限られるものでもよい。

【0027】また、上記の実施例では化粧床材として基材上に化粧床板が取り付けられた構成のものを示したが、基材が用いられない直貼りタイプのものとされてもよく、その構成のものを図6、図7を参照して説明する。

【0028】図6はその化粧床材20の平面構成を示し、化粧床材20は、図7にも示すように、ポリエチレン、ポリウレタン等の立体発泡樹脂シートや絨毛マットよりなる下地材21上にそれぞれの化粧床板22が接着固定されて構成されている。化粧床板22それぞれの接着固定は、一方の化粧床板22の側縁に突出形成された峰ざね24が他方の化粧床板22の相対する側縁に凹み形成された谷ざね26に嵌合され、その下部にホットメルト樹脂27が充填されることにより行われ、このような構成により化粧床板22それぞれの接着部分に可とう性が得られる構成とされている。そして、得られた化粧床材20は全体として、一方側の段状の側縁と一方側の長手方向の側縁とに連続して峰ざね30を、他方側の段状の側縁と他方側の長手方向の側縁とに連続して谷ざね31をそれぞれ備え、他の化粧床材20と接着使用できる構成とされている。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1の発明によれば、立体感があり、切削面において木質基板部分が目につきにくいデザイン性に優れる床板や壁板に好適な建築用化粧材が得られる。とくに、上記のように化粧单板の下層の木質基板が目につきにくい構成とされることで、化粧单板として薄いものを用いることができ、これによりコスト高となることなくデザイン性に優れる建築用化粧板が得られるようになる。

【0030】請求項2の発明によれば、さらに、柔らか味のある立体感が増大され、切削面において木質基板部分がさらに目につきにくいデザイン性に優れる床板や壁板に好適な建築用化粧板がコスト安に得られるようになる。

【0031】請求項3の発明によれば、さらに、切削面の木質基板部分が殆ど目に触れないデザイン性に優れる建築用化粧板が得られるようになる。

【0032】請求項4の発明によれば、柔らか味のある立体感を備えるとともに、木質基板部分が目につきにくくてデザイン性に優れ、さらに、歩行感の良い化粧床板がコスト安に得られるようになる。

【0033】請求項5の発明によれば、化粧床板が当接される溝部分の木質基板部分が目に触れない、また、柔らか味のある立体感を備えるとともに、歩行感の良い



5

化粧床材がコスト安に得られるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の化粧床材の実施例端面構成図。

【図2】本発明の化粧床材の要部拡大断面図。

【図3】本発明の化粧床板の製造法の説明図。

【図4】本発明の化粧床板の異なる製造法の説明図。

【図5】本発明の化粧床板のさらに異なる製造法の説明図。

6

【図6】本発明の化粧床材の他の実施例の平面図。

【図7】図6に示すもののX-X位置の部分断面図。

【符号の説明】

1 化粧床材

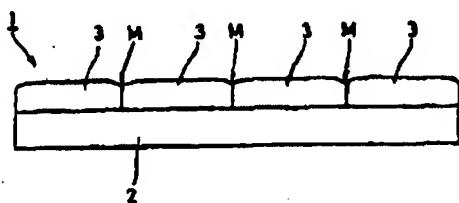
3 化粧床板（建築用化粧版）

5 合板（木質基板）

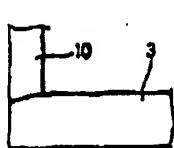
6 化粧単板

R 曲面形状

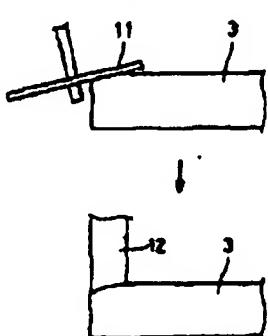
【図1】



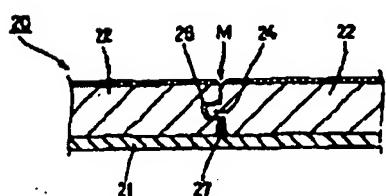
【図3】



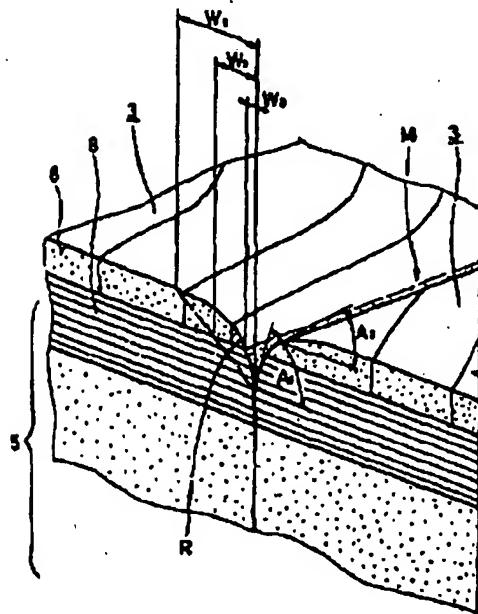
【図4】



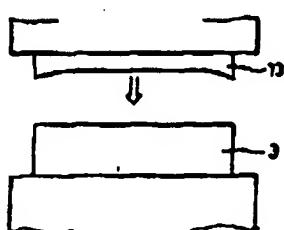
【図7】



【図2】



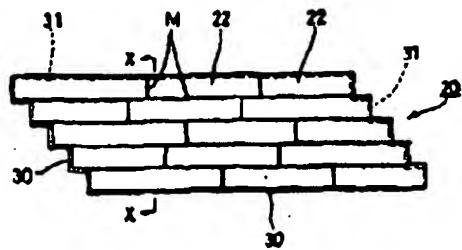
【図6】



(5)

特開平7-88992

〔図6〕



5
6
7

【专利请求的范围】

【請求項 1】装饰板的木质基板黏贴了装饰片，其特征是沿着上述装饰片、上述合成板的上层外抛，切割成为向外突出的曲面形状(从装饰板的垂直剖面的形状看)的建筑用装饰板。

【請求項 2】上述装饰板向上抛的角度，其特征是下部大，上部小，在請求項 1 中记录的建筑用装饰板。

【請求項 3】为了隐藏上述装饰板切割后，露出的上述的木质基板部分进行了表面处理，记录在請求項 2 中的建筑用装饰板。

【請求項 4】請求項 1、2 还有請求項 3 中记录的建筑用的装饰板可以作为装饰地板。

【請求項 5】請求項 4 记录的装饰地板，是将上述切割部分进行相互连接，平面组合构成的装饰地板。

【发明的详细说明】

【0001】

【发明所属的技术领域】本发明是關於建筑用的装饰板，尤其關於装饰地板，再就是關於由装饰板组合构成的装饰地板。

【0002】

【原有技术】普通住宅、公寓等木质地板的铺设形成的多数情况是，地板的表面有结疤，呈现短板的地板构造形态。构成上述地板的整体用料的造价非常高，因此，通常是在合成板的表面贴了凸板(装饰片)形成了装饰地板。

【0003】因此，这种装饰地板的上缘斜面在地板铺设后，和其相衔接的装饰地板之间形成了(剖面呈现 V 形的)沟。

【0004】

【发明将要解决的课题】因此，上述相连接的装饰地板之间形成了 V 形的沟，无论如何不能成为有丰富的立体感、感觉柔软的地板。另外，地板上存在有棱角的边缘，所以，在地板上行走的感觉就差。

【0005】为了提高上述地板的立体感，就要考虑加深地板的沟线，地板的沟线越深，下层合成的基板就越厚或者装饰片就越厚，因此，地板之间衔接的沟部看起来发黑，影响了地板的设计效果。由于层合板的沟线加深，采用的基板也要考虑使用较厚板材，因此，生产成本将会提高，另外，形成的沟越深，步行的舒适感就越差。

【0006】本发明的目的，是着眼于弥补上述提到的地板缺陷，提高地板的设计性、步行的舒适感，提供一种性能优越的装饰地板和建筑用装饰板。

【0007】

【解决课题的手段】在本发明的请求项 1 中提到的发明，将建筑用装饰板的木质基板黏贴了装饰片的装饰板，其特征是沿着上述装饰片、上述合成板的上层外抛，从装饰板的垂直剖面的形状看，切割成为向外突出的曲面形状的建筑用的装饰板。

【0008】在请求项 2 的发明中，进而形成上述装饰板曲面形状向上的角度，其构成下部大，上部小的特征。

【0009】在请求项 3 的发明中，进而形成为了隐藏上述装饰地板切除后露出的上述木质基板部分，进行表面处理的方法。

【0010】在请求项 4 的发明中，装饰地板是由请求项 1、2 和请求项 3 中记载的装饰板构成。

【0011】在请求项 5 的发明中，装饰地板是将上述切割部分进行相互连接，平面组合构成的装饰地板。

【 0012 】

【作用】根据请求项 1 的发明，由于装饰板上层边缘垂直剖面的形状呈现出曲面形状，因此有立体感，在平面形状切除部分露出的木质基板部分，由于切除部分对整体来说切口较小，木质基板露出部分就不显眼，由此生产出建设用装饰板。

【0013】根据请求项 2 的发明，在请求项 1 的发明的基础上，平面构成的曲面形状部分，由于大的部分是平面，因此增加了地板有柔软的立体感，使暴露出的木质基板部分也不显眼。

【0014】根据请求项 3 的发明，在请求项 2 的发明的基础上，木质基板部分经过表面处理被覆盖，切除面的木质基板部分被掩藏起来。

【0015】根据请求项 4 的发明，在请求项 1、2 和请求项 3 的发明的基础上，生产出切除部分的剖面呈现出曲面形状的、具有步行舒适感好的装饰地板。

【0016】根据请求项 5 的发明，生产出地板沟部分隐匿木质基板部分、还具有柔软的立体感，同时具有步行舒适感好的装饰地板。

【0017】

【实施案例】下面根据示图说明本发明的实施案例

【0018】图 1 是本发明的装饰地板的端面结构。图 2 是分别展示其重要部分的放大结构。装饰地板 1 是基材 2 上复数的短册状的装饰地板 3 (建筑用装饰地板)，地板在长端的方向上衔接的同时端部设置有止扣 (榫) 结构。作为上述基板 2 通常由层合板和分子板、中质纤维板构成。

【0019】装饰地板 3 是层合板木质基板 5 上贴着装饰片 (0.6 mm 厚度) 6 构成装饰板，沿着装饰板四边的上边缘装饰片 6 到层合板 5 上的位置的板 (1.2 mm 厚度) 8 的中间高度，且装饰板垂直剖面的形状呈现出向外突出的曲面形状结构。上述的层合板 5 也可以采用分子板、中质纤维板等。

【0020】上述装饰板曲面形状的 R 的剖面接近椭圆形，R 设计成下部的切角为 A1，



上部的切角为 A2 逐步变大。

【0021】曲面形状的 R 的形成，如图 3 中所示，直接由具有 R 曲面形状的切刀 10 切成，如图 4 所示，在直线形状切刀 11 切割后，斜面由磨削机碾磨而成，再就是，如图 5 所示，也可以采用模具 13 压制成形。

【0022】另外，切割后暴露出甲板 8 部分摩擦接触的涂层之前，采用砂皮纸打磨，在装饰片 6 的切除面采用刷或者辊等涂层和切除面相同颜色，或者采用转移印刷，贴装饰片等表面处理的方法，这样可以隐藏甲板 8 的暴露的部分。

【0023】于是，装饰地板 3 如上述具有切角特征的 R 曲面形状的结构，在其平面构成曲面形状的 R 部分在曲面所占部分小，坡面 W1 具有大的幅度，这样作为装饰地板 1 形成的沟 M，虽然不深但具有柔软的立体感，另外，沟的边缘角是有但不明显，因此具有良好的步行舒适感。

【0024】而且，暴露在甲板的平面位置上的坡面 W2 的比例对于整体 W1 的坡面是非常小的，由于其小的部分进行表面处理就不会暴露出甲板 8 部分，因此，提高了地板的性能，上述的坡面 W1 和 W2 的比例，(W1/W2) 在“3”以上为好，尤其，在‘5’以上地板的性能将得到较大的提高。另外上述甲板 8 显露的坡度 W2 和原来地板上边缘采用斜度时显露的甲板 8 的坡度 W3 相比较，将大幅度的减少。

【0025】另外，出于上述露出的甲板 8 的坡度 W2 是不显眼的结构，可以将上边缘的切割深度达到甲板 8，因此，作为装饰片 6 可以采用薄的材料，其结果是在不提高生产成本的情况下，达到立体感强、性能优越、步行舒适感好的效果。

【0026】在上述的实施案例中对于装饰地板进行了说明，该发明可以用于建筑装饰板和墙板，并且具有十分优越的性能。另外，装饰地板的上边缘形成曲面形，当然周边缘也可以采用相适宜的边。

【0027】另外，在上述的实施案例中展示了，作为装饰地板的基板上安装装饰地板的结构，也可以不采用基板，直接贴装饰片，其结构参照图 6、图 7 的说明。

【0028】如图 6 所示的装饰地板 20 的平面结构，装饰地板 20 在图 7 中也有展示，在聚乙烯、聚氨基甲酸酯等独立发泡树脂板和纤维底板的材料作为底材 21 上，和各自的装饰地板 22 衔接固定构成一体。装饰地板 22 分别衔接固定，一边是装饰地板 22 的侧边的突出部分作为雄榫 24，和相对装饰地板 22 的另一块装饰地板侧边的凹下去的部分作为雌槽 26 嵌接，在其下方充填热溶解树脂 27，这样的结构的装饰地板 22 的对应的衔接部分得到固定。因此，作为拼接用的装饰地板 22 的整体，装饰地板分别设置在板的短边一侧和长边一侧是一律的雄榫 30，在其另外的短边一侧和长边一侧是一律的雌槽 31，这样可以和其他的装饰地板 20 进行衔接。

【0029】

【发明的效果】根据上述说明，按照请求项 1 的发明，生产的装饰板有立体感、切除面的木质基板不显眼、性能优越，广泛适用于作地板和墙板用作建筑装饰板。尤

其，上述的装饰片下面的木质基板不显眼的结构，作为装饰片可以采用薄的材料，这样既不会提高生产成本，而且能够生产出优秀的建筑装饰板。

【0030】根据请求项 2 的发明，生产的装饰地板的柔软的立体效果更加增大，切除面的木质基板不显眼，而且性能更加良好，广泛用作建筑装饰板，适用于作地板和墙板，并且生产成本便宜。

【0031】根据请求项 3 的发明，生产的建筑用装饰板的切除面的木质基板不显眼，而且性能更加良好。

【0032】根据请求项 4 的发明，生产的装饰地板具有柔软立体感的同时，木质基板不显眼且具有良好的性能，进一步讲，步行舒适感良好，并且生产成本便宜。

【0033】根据请求项 5 的发明，生产的衔接的沟部分的装饰地板木质基板并不显眼，另外，具有柔软的立体感，良好的步行舒适感，并且生产成本便宜。

【设计图的简单说明】

【图 1】本发明装饰地板的实施案例端面结构图；

【图 2】本发明装饰地板的重要部位放大剖面图；

【图 3】本发明装饰地板的制造方法的说明图；

【图 4】本发明装饰地板的特种制造方法的说明图；

【图 5】本发明装饰地板的进一步改进的特种制造方法的说明图；

【图 6】本发明装饰地板的其他的实施案例端面结构图；

【图 7】在图 6 中所示物体的 X-X 位置的部分剖面图；

【符号的说明】

- 1 装饰地板
- 2 装饰地板（建筑用装饰板）
- 3 层合板（木质基板）
- 4 装饰片
- R 曲面形状

